

Bluetooth LE対応のIoTゲートウェイをYUWAが発売、ヘルスケア機器の測定値をサーバーに集約

大下 淳一＝日経デジタルヘルス

2014/08/07 21:01

ヘルスケア関連のICT事業を手掛けるYUWAは、Bluetooth Low Energy (Bluetooth LE) に対応するゲートウェイ「IoT Gateway with BLE」を発売した。Bluetooth LEの通信機能を備えるセンサーや計測機器で測ったデータを、サーバーに自動送信できる。

ここに来て、体温計や血糖値計などのヘルスケア機器が、Bluetooth LEの通信機能を実装する事例が増えている。今回のゲートウェイでは、利用者が意識しない間にこれらのヘルスケア機器と通信し、体温や血糖値などの測定データをサーバーに自動送信できる。スマートフォンやタブレット端末を経由してサーバーにデータを送信する手法に比べて、利便性が高い。

各種機器の遠隔制御を仲介する機能も実装可能。セキュリティーやHEMS (home energy management system) に利用することも可能とする。

通信事業者などを対象に、発売後2年以内に1万台の販売を目指す。次期製品では、Bluetooth LEに加えて無線LANやZigBeeをサポートする予定だ。



発売したIoTゲートウェイ

この記事のURL：<http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20140807/369820/?ST=ndh>

Copyright © 2014 Nikkei Business Publications, Inc. All rights reserved.

このページに掲載されている記事・写真・図表などの無断転載を禁じます。著作権は日経BP社、またはその情報提供者に帰属します。